

自由民主党政務調査会会長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井もとゆき

### 5月25日決算委員会

開会中の通常国会は、閉会まで残すところ1週間程となりました。今国会は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するための対処方針や厳しい経済状況に対応するための補正予算の審議等の緊急案件が加わり、各委員会の審議にも少なからず影響を及ぼすところとなりました。

私の所属する決算委員会は、審議日程がずれ込み5月25日に準総括審議が行われ、質問の機会を得ました。質疑では新型コロナウイルス感染症に関する問題を取り上げ、政府の考えを質しました。

まず、国民や患者が新型コロナウイルス感染症への不安から、受診を控える状況が生じ、病院のみならず薬局の経営にも影響を与えていることを提示し、継続的な医療提供体制を確保するための対策実施を要請しました。

次に、新型コロナウイルスの検査について、唾液検体を用いるPCR検査の実施、抗原検査薬、抗体検査薬の利用等、効率かつ迅速な検査体制の整備を要望しました。

最後に、新型コロナウイルス感染症の予防薬や治療薬の開発状況を確認するとともに、ワクチン開発への政府の助成策が欧米等に比べ見劣りすることを指摘し、支援拡充の必要性を指摘しました。また、アビガンについて動物実験で催奇形性が認められていることから、その使用にあたっては慎重を期するよう求めました。

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は解除されましたが、まだ油断できる状況にはありません。医療機関や薬局は、如何なる状況においても業務の継続が求められるところとなっています。医療関係者の皆さんには、出来る限りの予防策を講じ、適切な医療の提供にご尽力下さいますようお願いいたします。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>